



新年のごあいさつ



蒲郡市長
稲葉正吉

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本年も「夢と希望に満ちた、明るく輝く元気な町」を目指し、「堅実な行財政運営」、「産業の振興・働く場の確保」、「安全で住みやすい、魅力ある町づくり」の3つの施策を、一歩ずつ誠意をもって全力で進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「夢と希望に満ちた、明るく輝く元気な町」を実現するためには、市民の皆様が健康でなければなりません。平成29年11月に保健医療センター内に開設した「運動サポートセンター」では、開設以来の年間利用者数が、リピーターの方も含め約4,700人にのぼり、1日平均約20人の方がご利用されています。多くの市民の方の健康増進に繋げていけるよう、今後もさまざまな健康推進事業に取り組んでまいります。

「堅実な行財政運営」については、今後も少子高齢化・人口減少が予想される中、公共施設の見直しなど将来を見据えた行財政を推し進め、本市の発展に努めてまいります。

「産業の振興・働く場の確保」については、今年の夏に柏原地区の企業用地の造成工事に着手し、早期分譲に向けて着々と準備を進めております。企業からの用地需要に迅速に対応し、更なる蒲郡の発展に繋げていきたいと考えております。

また、「住みよい町、魅力ある町」であるためには、子育て支援の充実が重要であると考えております。今年の4月1日には「子育て世代包括支援センター」・「児童発達支援センター」の開設を予定しております。それぞれ「うみのこ」・「にこりん」と愛称も決定いたしました。開設に向けて、子育て世代の皆様が楽しく安心して子育てができるよう取り組んでまいります。

このほか、都市基盤整備において、国道23号蒲郡バイパスについては、現在順調に工事が進捗しておりますが、一部事業用地の買収が難航しております。一日も早い蒲郡バイパスの全線開通を目指し、国・県への積極的な要望活動を進めるとともに事業推進に努めてまいります。

三河港蒲郡地区については、昨年6月からマイナス11m岸壁の延伸工事が始まり、今年3月に完成を予定しております。その成果もあり、3月27日に大型外航クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が蒲郡の港に初寄港いたします。この寄港が、「海のまち、蒲郡」を日本全国、そして世界へと発信する機会となることを期待しております。

そして本年は、市制施行65周年という節目の年でございます。5月の記念式典を皮切りに、来年3月にかけてさまざまな記念事業を展開してまいります。市民の皆様と一緒に祝いし、一年を通して賑わいと活気あふれるまちにしたいと思っております。

最後になりますが、今年一年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。